

戦争をさせない

安倍政権の暴走にストップ

それは、子ども達への、世界の人々への愛のカタチ

あなたの腕の中で笑っているその子が、
孫が、将来、他国へ戦争しに行くかもしれない。
それが「集団的自衛権」です。
「自衛隊員じゃなくても?」と思いませんか。
日本は子どもが33年間減り続け、今は、人口の12%しかいません。
「戦場に行く」ことになった自衛隊員に、なる人はどのくらいいるでしょうか?
他国を武力で攻撃したら、必ずやり返されます。戦い続けなければなりません。
そのためには兵士がいる。
あなたも、あなたの恋人も、子も孫も、徴兵されるかもしれない…。

あなたは何が好きですか?
山に登ること? 眺めること? ライン? ショッピングやランチ?
戦争とは、そういう時間がなくなること。そういう時間を共にする人を、失うことです。
「そんなの嫌だよ。どうしてそうなるの?」
と語り合うこと、調べること、おかしいよと言ったり、書いたり、絵にしたりすることを禁止できる。
それが「特定秘密保護法」です。

そんな社会を望みますか?
この国の生き方を決めるのは「私たち」。
たかが一内閣が、勝手に決めていい事柄ではないのです。

あなたの税金が、あなたの老後や医療費に使われず、ミサイルや戦車になること。
それが「防衛費の増大」です。
例えば、中国の人口は日本の11倍。負けないためにはどのくらいのミサイルを買うのでしょうか?
私たちはどのくらい税金を払うことになるのでしょうか?

「武力」という「同じ手段」を使わない。
これこそ、最大の防衛力です。憲法9条が69年間示してくれた「事実」。
軍事力が平和を守るという政治家の発言より、ずっとずっと重い、尊い真実です。
「戦場へ行く」のはいつも、あなたの、私の子や孫、普通の市民です。
集団的自衛権の行使容認や特定秘密保護法は、そんな未来へ一直線なのです。

あなたの、私の、未来の子どもたちの、平穏で幸せな日々のために、
私たちは「戦争をさせない」。
そのためには、あなたの力が必要です。一緒に行動しましょう!

【戦争をさせない1000人委員会・信州/県民アピールより】



人類の宝「9条」を守って、
戦争に直結する「集団的自衛権の行使容認」に反対を。

長野地区憲法擁護連合 / 戦争をさせない1000人委員会・ながの

【事務局】長野市県町532-3県労働会館内 ☎026-235-3325

12月8日は不戦の日

73年前の1941年12月8日、日本軍は真珠湾を奇襲し太平洋戦争に突入しました。アジア諸国の人々2,000万人と日本国民310万人の尊い生命が奪われました。

この悲惨な経験から「二度と戦争はしない」と誓い、日本国憲法が誕生しました。

過去の誤りを認め、深い反省のもとに不戦を誓う日が12月8日です。